

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える活動事業
事業主体 (連絡先)	東御ひだまり家族村 (事務局 Tel : 090-9665-1762、Fax : 0268-64-4936、E-mail : okap@pedam.org)
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業、① 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,936,639円 (うち支援金 : 2,301,000円)

#### 事業内容

##### 1 「家族草子」を題材とした地域活動のための人材養成

市生涯学習講座の1つとして「家族草子」朗読講座を開催し、家族のあり方や交流、地域づくりを考える機会、さらにはそれらの大切さを伝えるスキルを有する人材を養成した。

- 開催回数 2019年5月～2020年2月まで全10回以上開催
  - 開催場所 東御市中央公民館 講義室・学習室
  - 対象人員 関心のある地域の方々 14人
  - 専門講師 家族草子メンバー 佐藤貴也氏・千代将太氏
- ※ウイルス感染拡大防止のため、成果発表の場は延期

##### 2 朗読劇「家族草子」の公演

家族の大切さを地域ぐるみで考え、家族間交流と地域のつながりの醸成を図るために、一流の朗読劇「家族草子」の公演開催。

- 公演日時 2019年11月24日(日)2回公演
- 公演場所 東御市立北御牧中学校音楽ホール
- 参加人数 午後の部296人、夕方の部225人 計521人

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える機会として、H29は609人、H30は646人が、本公演、ワークショップ、地元版公演等に参加した。今年度、14人の人材育成の成果として地元版公演を予定していたが、ウイルス感染拡大防止のために実施できなかった。ただ、本公演だけで521人が参加し、この活動の3年間の総参加者数は1790人に達した。
- 3年間の活動を通して、家族を題材に世代・地域を超えた

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成29年度、30年度に引き続いて実施した「家族草子」公演は大変好評であり、3年間を通して多くの地域の方々が、地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える機会を持つ経験を共有することができた。加えて、今年度新たに生涯学習講座の一環に位置づけ、2人の専門講師の指導を受けて、14人の地元の人材を養成することができた。このことから、今後は、地元の人たちが中心となって「家族草子」の公演を継続することで、家族を題材に世代・地域を超えた交流を継続することができ、次年度以降も、地域全体で家族間・地域内交流を広げていく。



【地域活動のための人材養成の取り組み開始を伝える記事】

#### 【目標・ねらい】

- (1) 「家族草子」朗読講座を定例的に実施し、専門講師の指導を受けることで今後の地域活動の核となる人材を養成。
- (2) 家族の大切さを地域ぐるみで考え、さらなる家族間交流と地域のつながりを醸成するために「家族草子」公演を開催。

※自己評価 【 B 】

【理由】今後も活動を継続するための人材養成に取り組むことができた。想定外の状況のため3年間の総参加者数が目標に達しなかったが、それ以外は概ね期待通りの手応えがあり、効果が得られた。

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第22回高所トレーニング国際シンポジウムおよび啓発イベント事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人身体教育医学研究所 (事務局 Tel : 0268-61-6148、Fax : 0268-61-6148、E-mail : okap@pedam.org)
事業区分	⑥ア特色ある観光地づくり、③教育、文化の振興に関する事業 (スポーツ振興)
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,781,886円 (うち支援金 : 2,981,000円)

#### 事業内容

##### 1 第22回高所トレーニング国際シンポジウム

令和元年11月9日(土)午前/午後、10日(日)午前  
湯の丸高原スポーツ交流施設・湯の丸高原ホテル  
海外講師2、特別講師2、著名講師2、発表者11  
2日間合計475名参加

##### 2 陸上イベント 講師：横田真人氏、78名参加

令和元年11月10日(日)13:30~15:00  
湯の丸高原スポーツ交流施設(400mトラック)  
ランニングのコツと効果的なトレーニング法

##### 3 水泳イベント 講師：松田丈志氏、久世由美子氏、

108名参加 日時・場所は陸上と同じ(特設プー



【上：国際シンポジウムの様子

下左：陸上イベントの様

【目標・ねらい】

- ①オールシーズンのスポーツ合宿地として情報発信と受入体制充実
- ②来訪者を迎えるムードを高める
- ③市民理解をより深める
- ④市民還元等の副次的効果

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ シンポジウムおよび啓発イベント事業参加者数は661名で、当初計画の700人には達しなかった。
- ・ シンポジウム開催後の11、12月の湯の丸高原観光客入込数は、目標で2.97万人であったが、実績は4.81万人に達した。
- ・ スポーツツーリズムによる交流人口(合宿による延宿泊数)は、今年度目標で12,000人であったが、予約実績で13,000人に達している。
- ・ 陸上と水泳の環境が整った高地トレーニング施設として、関係者に周知を図ることができた。
- ・ 外からの来訪者がもたらす活気を市民が実感し

※自己評価【 B 】

【理由】国内外の著名な講師による情報提供や実践指導を通して、外からの来訪者と地元関係者が共に湯の丸高原高地トレーニングの価値をより深く理解できたため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ 高地トレーニング(「GMOアスリートパーク湯の丸」湯の丸高原スポーツ交流施設)の利用促進、地域活性化、市民の健康増進等の相乗効果を生む流れができつつある。まもなく2020年を迎えることから、市民がアスリートを応援するムードをさらに高め、市民理解を深めることを通して地域のスポーツ振興につなげる取組みをさらに進める。
- ・ 高地トレーニングを指導・サポートできる人材育成のための教育事業を継続的に行っていく(2027年の第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会の長野県開催を目的に)。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雷電為右衛門顕彰普及事業 どんどこ！巨大紙相撲大会
事業主体 (連絡先)	しげの里づくりの会 東御市滋野乙 205-1 電話 0268-71-7581
事業区分	教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	851,071 円 (うち支援金：671,000 円)

#### 第3回 どんどこ雷電巨大紙相撲大会 東御場所

雷電生誕250年事業として市・丸山晩霞記念館が主催した事業を地元にて継承開催

**事業内容** 東御市中央公民館講堂にて

(活動)

ワークショップでチームごとに段ボールの力士を作成し、紙相撲大会を開催した。地域住民の参加のほか、地域の協賛企業から懸賞品を提供してもらうなど地域と一体となり盛り上げる取組としました。



【対戦中】

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域の交流の場
- ② 創造力を養う
- ③ チームの共同活動
- ④ 老若男女参加
- ⑤ 雷電の継承

#### ※自己評価【A】

#### 【理由】

- ① 大会の開催に予想以上に地域の方の協力があり、地域住民の参加も増え、企業からの協賛も多く寄せられ、地域のイベントとして定着した。
- ② 年齢性別を問わず、参加者と観戦者が一体となり盛り上がった。
- ③ 継続開催によりダンボール力士制作のスキルや対戦レベルが上がっただけでなく、大会の知名度も上がった。

令和1年11月チラシ・ポスター配布・HPにて募集開始

今回は、昨年より5チーム多い32チームの参加決定

令和2年1月18日19日ワークショップ開催 力士作成

参加者450名程、197cmのダンボールに個性のある力士誕生

又委員による新土俵の製作・鼠年の為か鼠の力士が多かった

完成後(新弟子検査)規格内か検査と初稽古対戦し本場所までに修正。

本場所は、2月16日(日)12時開会予定より1時間繰り上げ参加増の為、参加者・応援団・協賛者招待・大相撲東関部屋・相撲甚句会・商店会青年部・雷電太鼓・呼び出し・審判員・解説者 開催前に白鳥神社宮司土俵お祓い・安全祈願

全47大戦 最低2回は取り組む市長より激励を頂き開戦参加人数把握できず 600人くらいと思われま

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・27チーム予定32チーム参加・断りも発生 地域への効果有
- ・観戦者・応援者増・・・地域への効果あり
- ・東御市小学校5校あり・・・4校6チーム参戦昨年より増
- ・地区外・外国人チーム参加あり・・・知名度が上がった
- ・協賛者 56企業・個人増加・・・地域の関心が高まった
- ・地域の子供・大人・高齢者男女問わず参戦していただき 昨年以上の交流の場となりました。又世代を超えた事業
- ・テレビ・新聞も大きく取り上げていただきより効果が上がったと思います。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・来年以降も、継続していきます。
- ・より多くの参加者を募集したいので・・・場所の問題・対戦方法等の検討
- ・より多くの協賛者の開拓・・・事業資金との問題もあり開拓が必要
- ・将来的な展望・・・より大きな大会にしたい為 地区外への働きかけを検討
- ・継続していく・・・しっかりした体制づくりが必要



滋野小6年力士製作中



協賛者お披露目

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 平成元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「日本一のくるみの里・東御市」ジャンプアップ事業
事業主体 (連絡先)	日本くるみ会議 東御市県 281 番地 2
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,460,719 円 (うち支援金： 2,764,000 円)

### 事業内容

もともと特産省力果樹であるくるみの栽培・品質管理は、新規就農者を始め、営農経験のある農家においても体系化されているとは言い難い状況であることに加え、消費者ニーズの高まりが逆効果となり、栽培・品質管理をほとんどせずとも売れてしまうため、品質の良くないものも東御市産くるみとして販売されている状況が散見されている。また、以前はくるみの収穫から加工、調理、食事を通じて、くるみを用いた郷土料理が世代間で受継がれてきたものの、放任樹木の増加に伴い、若い世代、特に子供たちがくるみを身近に感じ、親しむ機会が年々減っている。

このような状況を踏まえ、下記を実施した。

- ・くるみの栽培工程の明確化と栽培手法等の体系化、品質の安定化を図るため、栽培者向けの“くるみ栽培指針”の刊行
- ・伝統を継承し将来を担う子育て世代や子供たちとともに試食会等を通して考案するレシピ等をまとめた“くるみ日和”の刊行

### 事業効果

- 苗木剪定講習会で検討した内容を加味した講習を実施したところ、30名の農業者の参加があった。
- くるみの栽培工程の明確化等を通じて、“信濃くるみ栽培の指針”を刊行することができた。
- 伝統料理やプロ考案のものを含めて、27のレシピを掲載した“くるみ日和”を刊行することができた。

### 今後の取り組み

東御市やJAくるみ部会等と連携して、剪定講習会や苗木定植講習会を実施し、その際に最新の知見に基づく、栽培指針の配布や解説を行うことで、くるみの栽培工程管理の徹底を図り、品質や収穫量の向上を達成する。また、くるみを使った料理の食卓食材としての認知度を上げるため、料理講習会やくるみ収穫体験会等のイベントでレシピ集を配布し、活用の輪を広める。



【調理の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①栽培工程の明確化
- ②栽培手法の体系化
- ③伝統料理の継承や食卓食材としてのくるみの認知度の向上

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・計画していた刊行物（信濃くるみ栽培の指針、くるみ日和、パンフレット）を予定通り完成させることができた。
- ・刊行物の有効活用が次年度以降の課題である。

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	田沢地域の魅力を発掘・発信。外来者呼び込み実践事業
事業主体 (連絡先)	田沢おらほ村活性化員会 0268-63-5147
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	601,089円 (うち支援金: 471,000円)

#### 事業内容

1 みんなが集える場所づくり  
 関酒店の事務所スペースの一角及び屋外スペースを地域住民の憩いの場として、あるいは観光や農業体験等で訪れた方々の休憩や自然豊かな風景を堪能していただくスペースとして整備しました。

2 遊歩道の整備  
 地域内にある里山の遊歩道を地域住民協働で整備し、地域文化の継承をはかりました。また遊歩道を利用し田沢地区を歩く観光客の増加や、田沢のすばらしい風景など魅力の発信につながりました。



【みんなが集える場所】

#### 【目標・ねらい】

- ①地域の魅力を発掘・発信と地域に呼び込むための活動の活発化
- ②観光客や移住者の増加

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1 みんなが集える場所の利用者 年間 350 人  
 定期的な懇談の場、地元各種団体の集いやママさん世代の憩いの場になった。また、定期的にイベントを開催し地域の活発化につながった。  
 観光に訪れた方等にも休憩できるスペースとしてご利用いただきました。

2 遊歩道の整備により誰でも気軽に散策できる環境を整えました。

※自己評価 【 B 】

【理由】  
 懇談の場ができたことにより、地域内の交流が活発化した。また、観光客のかたにも参加していただき魅力の発掘・発信につながった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は磨き上げた地域の魅力と「関酒店」「清水さんの家」と地域の観光資源であるワイン等を活かした観光ができるよう PR を行い他地域より人を呼び込める事業を地域ぐるみで展開していく。また大人だけではなく、みんなが集える場所に子供たちが集まり勉強や遊びをみんなのできるような場所にしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学びによるものづくりワークショップ
事業主体 (連絡先)	御牧ふれあいの郷づくり協議会 長野県東御市大日向 337
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,512,575 円 (うち支援金: 1,178,000 円)

### 事業内容

2年目のものづくりワークショップはより「手をうごかす」ことに重点をおいて企画、開催。さまざまな素材や技法など、基礎的なことを中心に「体験」を重点においた。

また WEB や記録集など、今後の活動につなげるメディアを作成した。継続的な活動につなげていくツールとして活用予定。

ものづくりワークショップは次の講座を実施。

- 第1回 10/22、26 ろくろ体験
- 第2回 10/22、26 切り絵イラスト
- 第3回 10/26 スタンプ WS
- 第4回 11/3 親子で製本
- 第5回 11/24 メディアアート
- 第6回 12/14、2/2 ちゅうきん WS
- 第7回 1/18、19 クロッキー
- 第8回 1/25、26 サンドアート

### 事業効果

昨年度の参加者も多く、一定のリピーターがつき、地域にアートクラブの活動が少しずつ根付いてきた。

クロッキーなど、絵画制作の基本的な会で、普段油絵を嗜んでいる方が、あらためて参加したことで、描画の基本を知ることができたというご意見など、基礎の重要性を再認識できた。

ご家族のケアで忙しい中、空き時間に良い気分転換ができたなど、こちらの想定外の感想をいただいた。

普段使いでない画材や道具などを使うことで、新たな体験の機会を設けることができた。

サンドアートの素材「砂」は昨年台風19号で氾濫した鹿間川の砂を使用。地域の地理的状況や自然災害の恐ろしさを伝えるとともに、地域資源の有効活用的視点の変換を試みることができた。

### 今後の取り組み

「いつでも誰かがなにかつucking」という自由なスペース、アートの交流場を整備し、リピーターや新規参加者を増やしたい。

紙でもさまざまな種類や用途があるので、いろいろな画材や素材(砂など)クリエイションの間口を広げたい。

資金面に課題があるので、この活動を法人化し活動の基盤を整える。



【ワークショップの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①子どもから大人まで、これからの時代に必要な柔軟な発想を育む。
- ②地域に新たなコミュニティの形成
- ③地域への愛着、市民プライドの高まり

### ※自己評価【C】

#### 【理由】

当初の計画通り進行できなかった。

もう少し、余裕のあるスケジュールで取り組みたい。

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産を核とした長和町映像発信による観光振興事業
事業主体 (連絡先)	信州・長和町観光協会 0268-68-0006
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,408,450円 (うち支援金:1,907,000円)

## 事業内容

2018年に認定された、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界-数千年に遡る黒曜石鉱山と縄文人に会う旅-」に含まれる長和町の『黒曜石』を軸に、町内の四季の表情や中山道和田宿など歴史、美ヶ原高原や長門牧場など地域の資源を活かし、インバウンドや国内向けそれぞれターゲットを明確に分けたプロモーションビデオ(PV)を制作しました。SNSやインターネット時代に合うよう、PVを活用しながら国内だけでなく、海外にも向けた情報発信を推進します。また、住民が発信者となり、町の観光情報などを細かに発信していかれるよう、動画制作ワークショップを開催し情報発信者育成に取り組みました。

## ① 成果物

- ・インバウンド向けPV(30秒)1本
  - ・冬のアクティビティ国内向けPV(30秒)1本
- プロポーザルより、町役場や観光事業者代表等の意見を集約し、これまでにない見せ方のPVを制作する。特にインバウンド向けは、外国の方々に人気な映像手法を用いたPVとなりました。

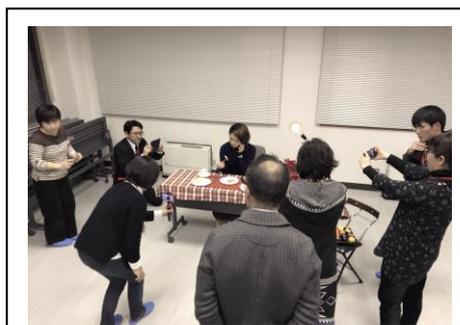
## ② ワークショップ参加者 応募10名(参加者7名)

町内の30~40代の女性を中心とした構成となったが、それぞれ意識が高く、意欲のある参加者が集まったため、飲み込みも早く、室内の講座だけではなく、フィールドワークなどの要望も多くいただきました。

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・協会HPアクセス数対前年比10%増(目標)  
→88,000ビュー(2018/4/1-2019/3/31)  
152,000ビュー(2019/4/1-2020/2/29)約73%増(実績)
- ・YouTubeチャンネル新設(動画再生数1,500回以上)(目標)  
→動画再生数91回(3/9現在)(実績)



【ワークショップの様子】

## 【目標・ねらい】

- ① 点在する観光情報を統一感を持って発信し観光振興・地域発展を図る。
- ② 地域住民による主体的な情報発信を推進する。

## ※自己評価【B】

## 【理由】

制作した動画は、これまでとはイメージを大きく一新する仕上がりとなり、地域の魅力を受け手の視点で国内外へPRするツールとすることができました。ワークショップは参加人数こそ少なかったが、意欲のある参加者が多く、住民による情報発信を推進する良い土台作りとなりました。ただ、動画再生回数が目標に達しなかったことは課題となりました。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

チャンネル開始

2020年2月14日 インバウンド向けPV公開

27日 冬のアクティビティPV公開

(8回視聴/3/9現在)

Youtubeチャンネル登録者数 6名

雪不足などから動画制作・公開時期がずれ込み動画再生数は目標に届きませんでした。プロポーザルでの業者選定等によりこれまでに作成した動画と一線を画す、受け手の視点を重視した動画を制作することができました。また、ワークショップでは、情報発信に意欲のある住民の参加があり、身近にある地域資源、観光資源を発信するきっかけとすることができました。今回の事業では、新たな動画制作および住民向けワークショップの開催により地域を挙げた魅力発信の土台作りができたと思います。次年度は今回制作したPVを実際にYouTube等SNSで広告として活用し、住民による情報発信と合わせて長和町の認知向上・魅力発信に繋げていきたいと思っています。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ワークショップでは、和田宿など実際の観光地を利用したフィールドワークを交えた、より実践的なワークショップを開催し、成果がすぐに公開できるような仕掛けをしていく。と同時に今年度同様にゼロからの育成も進行していく。

今年度制作したPVを新年度では、実際にYouTube等のSNSで広告として活用していき、実際の認知・集客へと繋げていきたいと思っています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	マルメロ夜イチ事業
事業主体 (連絡先)	マルメロ市実行委員会
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,663,987 円 (うち支援金 : 1,879,000 円)

#### 事業内容

道の駅マルメロの駅を舞台としたナイトマーケットイベントです。具体的な内容は、

- ①長和町の名産品や特産品の出店
- ②キッチンカーや屋台に飲食品の販売
- ③ハンドメイド・工芸作家による販売やWS開催
- ④ファミリー連れが楽しめるアトラクションやワークショップ開催。縁日ブース運営
- ⑤町の倶楽部活動などステージイベント

上記を踏まえ、観光客はもちろん、地域、町外(県内)の若い世代もターゲットとして、その世代に向けた内容を企画した、お客様自身が楽しみ方を見出す、体験イベントを開催しました。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 入場者数  
7月13日 約700名 8月24日 約600名  
初回は天候に恵まれず、2回目は晴天となったが目標動員には届かなかったが、来場者とのコミュニケーションの中から、昨年からのリピーターが多いことから、継続していくことでより多くの集客が見込められると思われる。また、今年は例年以上に道の駅車中泊利用者が多く、利用者たちにもお祭りに参加いただき、抽選会等で地元住民との接点を持つことができました。
- ② 上記の通り、抽選会やフォトコンでの来場者とのコミュニケーションで、リピーターや来年に期待する声、等が確認できた。
- ③ 昨年地元からの出演者は4組だったが、今年は新規に2組(依田窪南部中学校吹奏楽部、GAMERS)が参加していただき、地元で活動する団体の発表の場として活用していただいた。
- ④ 来年は道の駅のリニューアルオープンということで、新設される直売所と連携して、様々な催しやイベントを協働で開催していきたいと思ひます。



【会場風景】「縄のまっちゃん」による縄跳び教室

#### 【目標・ねらい】

- ① ナイトマーケットイベントの定着化
- ② 町観光スポットの新設
- ③ 観光客と地元住民の交流
- ④ 各回1,000名以上の来場者

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

3年目ということで、お客様からの認知も増えイベントが定着化し、楽しみにしているお客様もいる。また、今年は道の駅利用者(車中泊)が非常に多く、「長和町の道の駅」のイベントとして、参加・体験していただいた。

地元で活動する団体の発表の場としても認識されてきた。今後はもっと活用していただけるように、声掛けを継続していきたいと思ひます。

今後の課題としては、運営組織の高齢化、これから組織を運営していく世代の育成が必要。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年は道の駅のリニューアル工事を終え、新設される直売所もオープンするので、直売所の運営組織とも協働して、道の駅をイベント等で盛り上げていきたいと思う。また、現在は長和町の「街場」のイベントとなっているが、山の上の地域「鷹山、姫木」からの集客やペンション利用者などの観光客にも繋がるイベントにしていきたいと思います。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スキー産業を支える人材と「スキーで世界に羽ばたく人材」育成事業
事業主体 (連絡先)	長和町スキー振興協議会 会長 立岩 寿一 090-9011-1488
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3, 577, 740円 (うち支援金: 2, 662, 000円)

#### 事業内容

今シーズンの事業内容

「ジュニアレーシングチームの練習

当初雪不足により、座学によるスキースポーツ理論、スポーツ選手としての人間力の向上についての講義指導。

12月14日からは雪上トレーニングに入る、フリー滑走によるポジションの確認、中低速の基本練習を行う。

12月28日からブラシポールを使用しての規制コースの練習を行う。その後人工降雪により練習バーンも徐々にあきポール練習が可能になった、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の延期、中止が相次いだ。練習は予定通り行うことができた。自主財源事業では、初心者のピョピョ、スキー教室は実施出来たがキッズレース、大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる。



#### 【フリー滑走】

#### 【目標・ねらい】

新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となったが協議会全体では、地域、組織との連携が強固になり目標に知被けた。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

二年目を迎えて、事業の定着が進み、保護者会、スキー場、コーチとそれぞれの立場での連携がとれてきた。保護者会では、古いスキー板を集めてスキーを始めたい子供たちに提供している。スキー場は、雪不足の中、練習コートの確保、セパレートなどを行ってくれている。選手はチーム練習のシステムを理解して行動してきた。スキー教室は52名の参加者があり予定通り開催できた。ぴよぴよレースは32名の参加があり実施出来たが、キッズレースは79名の参加申込みがあったが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまい残念。

#### ※自己評価【C】

【理由】新型コロナウイルス感染症の影響で地元大会やキッズレースが中止となる。レーシングも公式大会が中止となる。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今シーズンも雪不足でのスタートとなりましたが、来シーズンはそれぞれの事業の参加人数を増やしていく。レーシングはゲートトレーニングを集中していきたい。地域連携の中で、使用しなくなったスキー道具の利用の促進を大々的に行いスキーをする子供を増やす。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	RUN&BEER NAGAWA 開催事業
事業主体 (連絡先)	RUN&BEER NAGAWA 実行委員会 長野県小県郡長和町大門 3518-2463
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,623,967 円 (うち支援金： 1,299,000 円)

#### 事業内容

- RUN&BEER NAGAWA の開催 (2019/10/5・6)  
グリーンシーズンのスキー場を活用した、新しいアクティビティ、新しい楽しみ方を提案した。
- トレイルランリレー
    - ・チーム対抗で5時間耐久トレイルランリレーを実施
    - ・27チーム、64名エントリー、59名出走
  - ハイキングツアー
    - ・スキー場をコースにハイキングツアーを開催
  - 音楽イベント
    - ・高橋ちか、ケルト音楽の演奏
  - ムービー鑑賞会
    - ・各種フィルムの鑑賞会、参加者約100名
  - キャンプ
    - ・焚き火台を囲んで鑑賞・団欒、テント泊、宿泊者約60名
  - 朝ヨガ
    - ・10/6朝実施、講師 中野由枝、参加者約40名
  - トレイルラン講習会
    - ・10/6実施予定だったが雨天のため中止、講師 栗原孝浩
  - 食文化イベント
    - ・長和町周辺の飲食店による露店営業

来場者により長く滞在し長和町の魅力を体感してもらえる、音楽ライブやキャンプ、朝ヨガ等、子どもやリレー参加者以外も楽しめるコンテンツを用意しました。地域住民にも手伝ってもらいながら準備し、地域の飲食店に出店してもらうなど地域の産業振興にも寄与できるよう取り組みました。

チラシに加え、雑誌広告やPR動画(HP・SNS)を活用して情報発信したことで県外からも多くの方に参加いただくことができました。

#### 事業効果

	H30 R1
トレイルランリレーエントリー数	41名→64名 (56%増)
ナイトイベント来場者数	40名→100名 (150%増)
朝ヨガ	25名→40名 (60%増)
トレイルラン講習会	雨天のため中止
ウォーキングツアー	今年度からハイキングツアーを実施

雑誌広告、PR動画によりリレーの参加者が増加し、大会認知度を高めることができました。



【トレイルランリレー参加者】

#### 【目標・ねらい】

イベントの認知度を向上させ、イベント参加者数を増やし、グリーンシーズンの観光振興を図る。

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

目標には達しなかったが、リレーをはじめイベント参加者を前年比50%以上と大幅に伸ばし、県内外での大会認知度を高めることができた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当イベントの認知度をより高めるため、SNS、動画などを用いて広告宣伝したい。音楽・映像のコンテンツを増やし、来場者数の増加につなげたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある